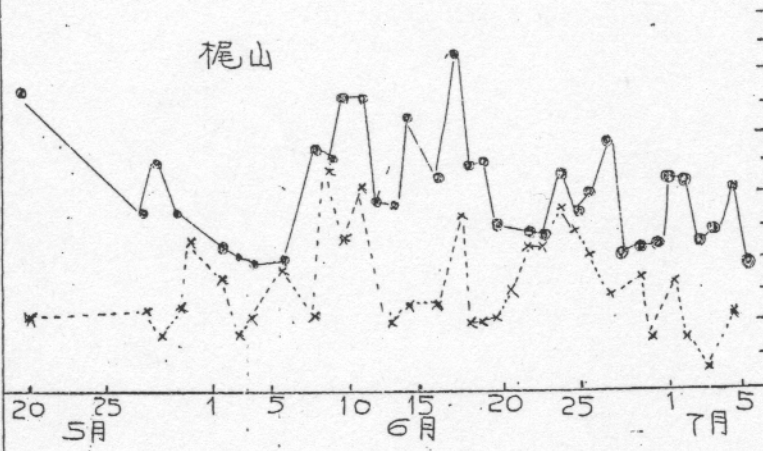
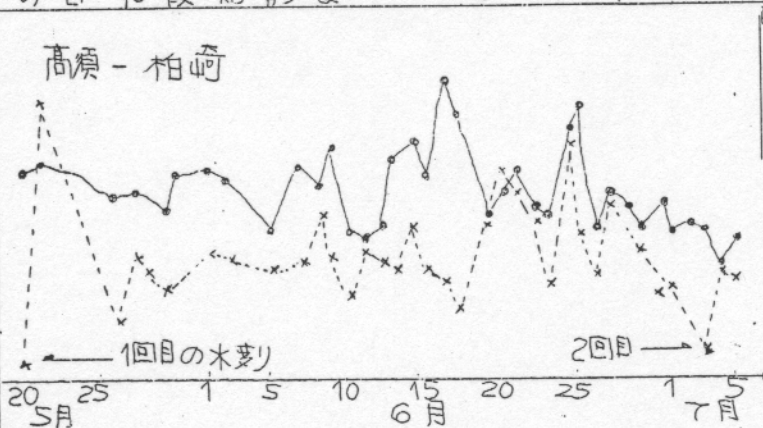


内水試

かゆら版 12

これまででの水質
 今年はこれまで連続的に酸素
 不足に悩まされて来ました。こ
 に6月下旬からはじまった
 「水変り」にともなう酸素量
 の低下がへり死につながるの
 はなかた心配されましたが、
 台風により良好な状態が、
 一時回復しました。プランクト
 ンも鞭毛虫が消え、これからア
 コに変わっていくものと考えられ
 ます。右図に5月20日からこれ
 までの表面と底の酸素量を示
 しました。これを見ますと北
 浦では、多少の変動は、みられま
 すが、底層の酸素量が常にこの前
 後を示し、「水変り」がおこった時期
 に急低下がおこっています。又霞
 を補っても柏崎-高須間ではこれ
 と同傾向がみられ、とくに「水変り」
 とともにおこった、6月24日以降の



底層酸素の急激な低下が注目し値
 します。
 今回の「水変り」は台風による降雨お
 び上下混合にみよって、一時
 回復しました。しかし、以上の結果を
 総合して考えると今後水温の上昇に
 ともない底層酸は比較的低い状態

を採ち、アオコの発生ある
 は、その「水変り」の状態如
 何では酸欠状態が再現
 されるおそれがあります。
 二か月前後半をむかえ、
 アオコ・シースンです。充分注
 意し、お互にガンバリましょう。

地点	透明度 m	酸素 PPM	水温	PH	塩素	NH ₄ -N	COD	700μl ml/hr				生産力 gross Resp O ₂ /hr/l		プランクトン個/CC
								a	b	c	全			
不泉	1.3	9.46 6.80	22.0 22.0	8.0	192	.03	351	21	4	16	42	.24	.19	1. Protozoa 300 2. Chroococustae 800
三又	.95	8.20 6.50	22.1 22.0	8.2	234	.02	206	20	3	7	31	.03		1. 200 2. 800
麻生	-	6.44		8.2	230	.12	4.60	20	3	7	31	.75	.19	1. 100 2. 2200
田伏	1.15	6.44 5.20	21.4 21.4	7.9	186	.32	392	10	-	-	10	20	.07	2. 1000 3. Sclorella 50
高崎				8.3	25	.10	360	68	8	24	107	-	.13	1. 500 2. 200
白浜	1.9	7.46 3.14	22.5 22.0	7.9	350	.17	4.65	15	9	24	46	.14	.08	+シ
江川	2.0	7.15 3.59	22.5 22.0	7.8	296	.29	7.97	18	5	18	41			+シ
三和	1.5	7.75 1.50	22.5 22.0	7.7	164	.22	4.60	32	9	25	66	.22	.05	+シ
高田	1.3	9.30 5.82	21.5 21.2	7.9	16	.10	-	74	14	36	24	1.26	.05	Chlomonadae 2800 Melosira 250. Geminella 800

